

■ HRD FINE ART 展覧会開催のご案内 ■

白河 ノリヨリ 個展

光と青の汽水 — Light Meets Blue —

会 場： HRDファインアート

(京都市上京区上御霊堅町494-1)

会 期： 2022年 11月19日 (土) ~ 2023年 1月7日 (土)

時 間： 木曜日 11:00~15:00

金・土曜日/11月23日 (水・祝) 11:00~19:00

休 廊： 日~水曜日 (事前のアポイントにより観覧可能) /12月31日 (土)

【展覧会概要】

HRDファインアートでは、2022年11月から2023年1月にかけて、絵画作家・白河ノリヨリの個展「光と青の汽水 - Light Meets Blue -」を開催します。HRDファインアートでは2017年以来約6年ぶりの個展となります。

白河ノリヨリは1969年東京生まれ。東京藝術大学大学院を修了し、現在は愛知を拠点として精力的に作家活動を展開しています。

白河の制作の大きな特徴となっているのが、金属の「箔」の使用であり、そこから導かれる「光」の表現です。絵画の技法研究や保存・修復にも深い知見を有し、美術史・材料史的な専門知識に裏付けられた白河の絵画は、東洋においても西洋においても宗教性や装飾性と密接に関わりながら発展してきた「絵画における光の表現」の歴史を踏まえつつも、新たな絵画表現の領域を切り拓こうとする実験性にもあふれています。

展覧会タイトルの「汽水」とは、河川の河口付近、海水と淡水が混ざり合った状態のことを指す言葉であり、豊かな生態系が存在する場所としても知られています。金属箔が反射する光そのものと、地球の根源的な色ともいえるブルーとが調和した、崇高で豊穡な絵画空間を象徴的に表現しています。

今回の展示では、キャンバス作品に加えて、新たな試みとして軸装作品やガラスを用いた立体作品も展示します。平面と立体、光、色彩、物質——多様な視覚体験を生み出す白河ノリヨリの作品を是非ご高覧ください。

【アーティストからのメッセージ】

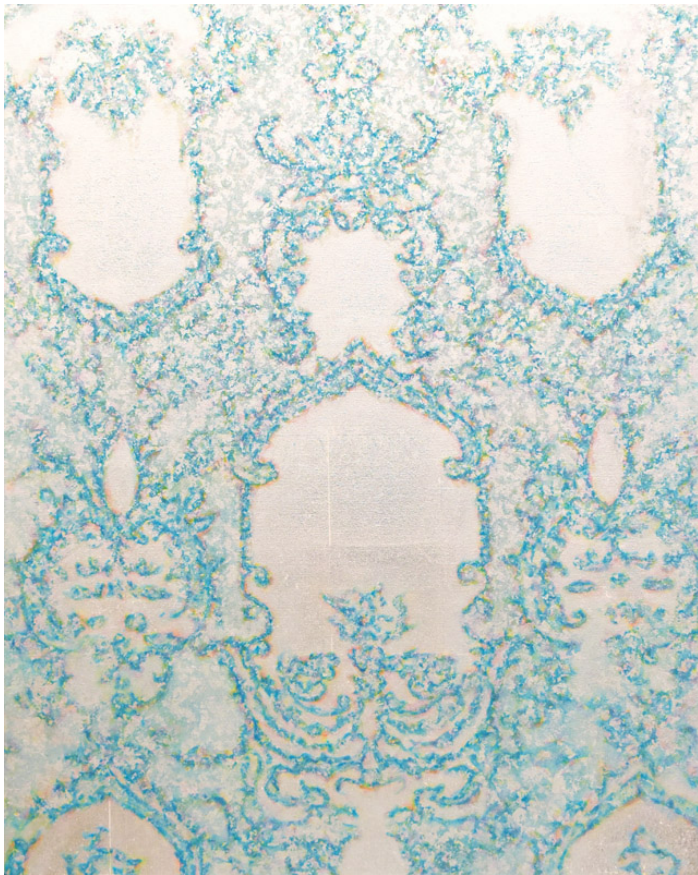
「汽水」とは淡水と海水が混ざりあっている状態を指すのだという。

即物的に知覚できる「光」と胎児が感じる最初の色という説がある「青」。

このふたつが触れて、響き合う地点で表現したい。

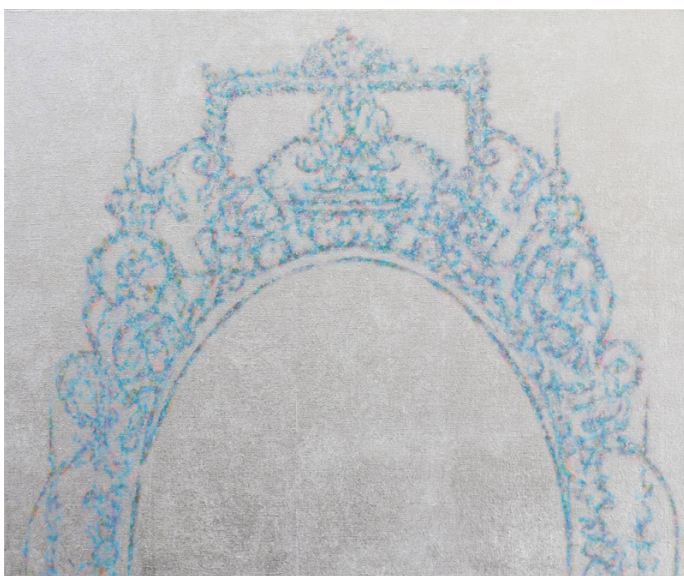
白河ノリヨリ

【展示作品・参考作品】



V-C-Light-2022

アルミ箔、テンペラ、油彩／白亜地キャンバス 100×80.3cm 2022年



V-C-Light-2021

アルミ箔、テンペラ、油彩／白亜地キャンバス 50x60.6cm 2021年



V-C-Light-2022

アルミ箔、テンペラ、油彩／白亜地キャンバス 80.3×100cm 2022年



B-M-Light-2022

ガラス、木 12.5×11×39cm 2022年

【作家略歴】

白河 ノリヨリ

Noriyori SHIRAKAWA

1969 東京生まれ
 1993 東京藝術大学油画専攻卒業
 1995 東京藝術大学大学院修了
 現在、愛知在住

主な個展

1996 「L'ESPOIR 1996 白河宗利」銀座スルガ台画廊（東京）
 1997 「白河宗利展」清月堂ギャラリー（東京）
 1998 「NORIYORI SHIRAKAWA」清月堂ギャラリー（東京）
 2004 「ココロノカタチ 白河宗利」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
 2006 「布上のバルール」銀座ごらくギャラリー（東京）
 2010 「布上のヒカリ」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
 2017 「I.L.L.U of Blue」HRD ファインアート（京都）
 2018 「Sense of Light ... Blue」ギャラリーくさ笛（名古屋）
 「First Seen - Blue」岡崎信用金庫資料館（岡崎）
 2019 「likely blue」弥栄画廊（東京）
 「Blue Seen Through」Space O'NewWall Ejuheon（ソウル）

主なグループ展

2000 「GROUP EXHIBITION」銀座井上画廊（東京）
 2001 「ART FORM OF JAPAN」The Suan Dusit Art Gallery（バンコク）
 2002 「三人展」長谷川空間創造会社（東京）
 「NEW TRADITIONAL ART」シルパコーン大学アートセンター（バンコク）
 「3人展」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
 2003 「葵の会」銀座スルガ台画廊（東京）（以降毎年）
 「FIELD OF NOW 形象改革」銀座洋協アートホール（東京）
 2004 「洋画新世紀展」銀座洋協アートホール（東京）
 2005 「TEN by 展 10×10・小さな宇宙」GALLERY ALPHA（名古屋）／他巡回
 2006 「TOKI の風」渋谷西武美術画廊（東京）
 「CONNECT [Impression on Paper]」シルパコーン大学アートセンター、バンコク）
 「LIONCEAUX 2006 -現代洋画の俊英たち-」三越本店特選画廊（東京）
 （2007、08、09、10 も）
 2007 「自画像の証言」東京芸術大学美術館陳列館（東京）
 2009 「オクターヴ」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
 2010 「GOLD EXPERIENCE」Hyun Gallery（ソウル）
 2011 「十人十色」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
 「LIONCEAUX PLUS -華咲け現代洋画の俊英たち-」三越本店特選画廊（東京）

- (2012、13、14、15も)
- 2012 「Building a Castle of Sand (or Breaking It) - 砂の城をつくること (あるいは壊すこと) -」
Next Door Gallery (ソウル)
「FORMS IN FLUX」 Grossman Gallery (ボストン)
「GOLD EXPERIENCE2 -金鯨によせて-」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー (名古屋)
／旧竹内邸・常懷荘 (小牧)
「NORIYORI SHIRAKAWA+KUNIAKI YAMAMURA」 ギャラリー旬 (名古屋)
- 2013 「すくいとられたカタチ」 名古屋ポストン美術館 (名古屋)
- 2014 「CUBIC MUSEUM」 シルパコーン大学アートセンター (バンコク)
- 2016 「技材変態」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー (名古屋)
「物質としての絵画」 瞻百堂ギャラリー (東京)
- 2017 「TM NETWORK」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー (名古屋)
- 2018 「テーマは技材」 ギャラリー・パリ (横浜)
- 2019 「SENSE EXISTENCE ESSENCE」 Colon B Arts (ソウル)

【感染対策について】

HRD ファインアートでは、展示プログラムの再開にあたり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対応として、以下の措置を導入・実施いたします。

① オープングレセプションの中止

従来、展覧会初日にアーティストを囲んでオープングレセプションを開催してきましたが、当面の間これをすべて中止します。

② 検温・不織布マスク着用・手指消毒の徹底

ご来場の方は、事前（当日）に検温をお願いいたします（会場で非接触式体温計による検温をお願いする場合があります）。37.5℃以上の熱のある方や咳等の呼吸器症状のある方はご来場をお断りします。また、来場時は不織布マスクまたは同等以上の感染防止性能を持つマスクの着用をお願いします（ウレタンマスク、布マスク、ガーゼマスクでご来場の方には未使用の不織布マスクをお渡ししますので、そちらを着用してください）。健康上の理由等によりマスクを着用することができない場合は、事前にお申し出ください。また、ギャラリー入口に設置する手指消毒用のアルコールでの手指消毒をお願いします。

③ 来場人数制限の実施

ギャラリー内の混雑を避けるため、来場人数の制限を設け、ギャラリーへの入場をお待ちいただく場合があります。

④ 臨時休業・完全アポイント制への移行の可能性

新型コロナウイルスの感染拡大を見極め、状況に応じてギャラリーを臨時に休業、または事前アポイントによる完全予約制とさせていただきます可能性もあります。こうした場合は、ギャラリーのウェブサイト www.hrdfineart.com や SNS のチャンネルを通じて、なるべく早い段階で告知を行います。

お問い合わせ：HRD FINE ART
(エイチアールディー・ファインアート)

住所：〒602-0896 京都市上京区上御霊堅町494-1
電話：090-9015-6087（担当：原田）
ウェブ：<http://www.hrdfineart.com>
Eメール info@hrdfineart.com

